

2年4組

4組1班

SDGsの番号：3、12、16

戦争が与える影響

ロシア、ウクライナ戦争によって、たくさんの人が被害を受けている。それもロシア、ウクライナの人々だけでなく、世界中の人達が被害にあっている。最近ウクライナ側が陣地を取り戻したみたいだが、戦争は一向に終わりそうにない状況である。ここで戦争とは何か、簡単に説明すると兵力による国家間の闘争のことである。では戦争は終わらせることができるのだろうか。この世界に戦争をしたくてしている人はいないと思う。ニュースのインタビューでは家族を守るために戦っている人や、戦争に参加しないと殺される人など、戦争に半強制的に参加されている人ばかりなのだ。これらのことを見ると、もしかすると人類が敵や味方関係なく、共に平和を目指すことができるのではないかと、そう思うのである。もし人類がこれらのことを実現することができれば、強制的に行かされることもなく、まず戦争など起こらないと思う。以上のことから戦争をなくすことは可能であると思う。



4組2班

SDGsの番号：1、2、8、10

ボクシングとSDGs

ボクシングの起源をたどると、紀元前4000年前に元はただの殴り合いとして行われていました。また、全裸で行う遊びでした。こういった意味では、貧困層の人でも簡単に始めることのできるスポーツでした。どんなに貧しい人でも粘り強く練習を続ければ強くなるチャンスがあるのです。強くなれば経済的に豊かになり、国の発展にも貢献できるかもしれません。そういった選手が出てくれば、世界からの注目も集まり、新たな可能性が広がるのではないかと思います。例えば、フィリピン出身のボクサーノニト・ドネアは貧しい家庭で育ち、周囲からはいじめを受けていたことがきっかけで、簡単に行うことのできるボクシングを始めました。そして日々練習をがんばり続け、大人になるとアジア人初の4大4カ国の全てでタイトルを獲得しました。その後世界王者となり、そのお金でフィリピンに寄付をして国に貢献しました。



4組3班

SDGsの番号：2、3、6、10、11、15、16

ウクライナ侵攻

2022年2月24日にロシアがウクライナに攻め込み、戦争が始まりました。それはロシアのウクライナ侵攻とよばれ今も続いています。なぜこの戦争は始まったのでしょうか。それはウクライナが北大西洋条約機構(NATO)に入るのをロシアが邪魔するためとされているのと、ロシア政権が自分たちの考えだけでウクライナに言うことを聞かせたいからとされています。しかしどんな理由があってもロシアがしたことは許されることではないのです。ウクライナがどこの国と仲良くしようが自由なのです。今ウクライナでは住居が破壊され続けています。なので民間人は住み続けることができずウクライナ国外へと避難するしかありません。今回ウクライナ戦争について調べてみて伝えたいことは、日本もいつこのような状況になるか分からないから他人事ではなく皆が自分事のように考えてほしいです。



4組4班

SDGsの番号：7、12、13

節電の重要性

今年の3月に電力需給ひっ迫の警報、6月に注意報が発令され、政府が節電を呼びかけた。しかし、節電をしている人は少ないだろう。節電が私たちの生活に馴染んでいないということである。そんな中、気候の変化による需要増加、地震の影響により一部の発電所停止など、電力を備蓄するどころか、安定供給すら危うい状況である。更には資源・エネルギーも共に不足状態で、このまま行くと、早くて40年ほどで限りある資源は失くなってしまふ。現在、様々な再生可能エネルギーが開発されているが、多くの問題を抱えている。そんな中、私たちにできることはないのだろうか？解決策として挙げられるのはやはり「節電」だろう。家庭、企業から始まり、幼い子供や高齢者、幅広い年代が簡単にできると考えた。テレビや冷蔵庫、電車、多くで電力が使われている。私たちの生活に影響が出る前に、少しの意識で変えられることはないだろうか。電気をつけっぱなしにしない、エアコンを使わず工夫する。1人1人の行動が、未来を変える一歩になる。



4組5班

SDGsの番号：10、16

身近に起こる SNS の危険

現在の社会では、SNSが様々な場面で利用されている。特に中高生の間ではInstagramやTwitterなどを通して交友関係を広げて、情報を収集、拡散、発信するために利用している。しかし有効活用されている反面悪質な目的で利用されていることも事実だ。たとえば2020年2月末に起こった「トイレトーパー騒動」だ。「新型コロナウイルスの影響でこれから不足する」というデマ情報が匿名でツイートされた。その結果すぐに拡散され、全国のスーパーや薬局からトイレトーパーやティッシュが無くなるという前代未聞の出来事があった。このようにSNSは便利なツールだが、そこに書かれていることが必ずしも正しい情報とはかぎらない。だからこそ「この情報は本当に正しいのか」ということを慎重に、場合によっては懐疑的に考える習慣を持つことが大切である。



4組6班

SDGsの番号：7、11、13

夏の節電要請

地球温暖化の原因の一つとして、家庭からのCO2排出量の多さが挙げられる。そしてその約半分が電気の使用によるものである。2020年度の家庭部門からのCO2排出量は約1億6600万トンCO2だった。1世帯あたりに換算すると1年間で3900kgCO2になる。このうち47.6%は家電製品などで使う電気の使用によるものである。したがって、家庭からのCO2を低減するには家電製品の省エネや節電が必要だ。少しでもCO2を減らす取り組みとして、家族がなるべく同じ部屋で過ごす。エアコンの温度設定は暖房20℃、冷房は28℃が目安で、人のいない部屋の照明はこまめに消灯。テレビの画面は、明るすぎないように調節。冷蔵庫は、開け閉め少なく、ものを詰め込みすぎない。使わない電気製品は、コンセントからプラグを抜く。そして、シャワー、洗い物の時は流しっぱなしにしない。お風呂は、家族が続けて入るようにする。洗濯する時はまとめて洗う。このように、自分たちでできることが沢山あるということがわかったので、意識して行動しようと思う。



4組7班

SDGsの番号：7、11、12、13、14、15

ポイ捨てによる環境被害

皆さんは、ポイ捨てにどんな印象をもっていますか？現在日本ではポイ捨てをされているゴミをよく見ます。そこでポイ捨ての悪影響について調べました。ポイ捨ては環境問題と密接に関わっていることがわかりました。例えばタバコやプラゴミなどのポイ捨てによる問題です。ポイ捨てされたタバコの箱などはプラスチックや有害物質が含まれており、それを魚達が食べることにより魚が死んでしまい、有害物質を取り込んだ魚を人間が食べてしまうことにより人間にも害を及ぼしてしまいます。その他にもプラスチックのポイ捨ても問題の一つです。年間約一千万トンを超えるプラスチックが捨てられています。その結果、魚達や人間にも悪影響を及ぼしてしまうだけでなく、プラスチックは自然にも帰らず、一生残ってしまいます。ポイ捨てを1回するだけでも環境は汚染されてしまいます。皆さん、ポイ捨てをせずにゴミ箱などにゴミを捨てましょう。

